

○議長（茅沼隆文）

皆さん、おはようございます。

ただいまの出席議員は12名です。定足数に達しておりますので、これより平成29年開成町議会9月定例会議第7日目の会議を開きます。

午前9時00分 開議

○議長（茅沼隆文）

早速、本日の日程に入ります。

それでは、認定第1号 決算認定について（一般会計）から認定第7号 決算認定について（水道事業会計）まで及び議案第29号 平成28年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分についての計8議題を一括議題といたします。

既に質疑は終了しておりますので、討論・採決を行います。議事の都合により分割して採決を行いますので、御了承ください。

それでは、討論を行います。はじめに、反対討論のある方は、いらっしゃいますか。

（「なし」という者多数）

○議長（茅沼隆文）

いらっしゃらないようですので、次に賛成討論を行います。賛成討論のある方は、いらっしゃいますか。

11番、吉田議員。

○11番（吉田敏郎）

11番、吉田敏郎です。

認定第1号 決算認定について（一般会計）について、賛成の立場で討論いたします。

平成28年度、一般会計の決算は、歳入総額が55億9,116万4,000円、前年度比3億8,580万8,000円の増、歳出総額が53億530万4,000円となり、前年度比4億2,257万7,000円の増となっています。

歳入歳出差引額は2億8,586万円で、翌年度への繰越額5,864万2,000円を差し引いた実質収支は2億2,721万8,000円となりました。

歳入においては、町民税が12億1,358万5,000円、前年度比9.8%の増で、人口の増加傾向や町内企業業績の好転もあり、個人町民税、法人町民税ともに昨年に引き続き増加しております。特に、法人町民税では、大手企業の業績が良好であったことなどから大幅な増収となりました。

固定資産税の家屋については、みなみ地区での住宅建設に伴い増収となっておりますけれども、土地については軽減措置の適用により減収となり、固定資産税全体では、ほぼ横ばいの前年比0.5%増の14億4,344万円となりました。町税全体では28億915万2,000円で、前年度比4.4%の増となりました。

また、最近の消費動向や国の低金利政策を受けて、地方消費税交付金や利子割交付金等、一部の歳入減があるものの、寄附金においては大幅な増でありました。これは、ふるさと応援寄附金、いわゆるふるさと納税制度活用の取り組みで、その効果であり評価ができます。また、町債についても、臨時財政対策債のみの発行であったことは

評価できます。

歳出においては、人口が増加している町として、民間保育所整備費補助金などの児童福祉費の充実や開成幼稚園大規模改修に取り組むなど、子育て関連事業の充実が図られております。また、開成駅東口施設「ぷらっと・かいせい」内に子育て支援センターを開設し、子育て世帯の利便性にも着目した定住促進策として期待でき、駅前窓口コーナーについては駅から近くで便利と好評であります。取得できる証明書等の種類の拡大を速やかに実施されたことは、大いに評価するところであります。

なお、少子高齢化に伴い扶助費が引き続き増加傾向にあるのは不安要素であるものの、財政指標を見てもみますと、経常収支比率は、平成27年度に1.7ポイント下がったのに引き続き、平成28年度も1.0ポイント下がったことで柔軟性が高まったことをはじめとして、実質収支比率6.3%、実質公債費比率、3カ年平均値が8.2%、将来負担比率は55.7%で、全体として良好な運営が維持されていると認めることができます。

最後になりますが、町税の徴収等、歳入の確保に関しては、税務窓口課を中心に6課1室が徴収対策推進会議を構成し、収入未済を防ぐため地道な努力を重ねており、徴収努力に町を挙げて取り組んでいることがうかがえます。そういった中で、全職員が健康で町民のさらなる福祉の向上に取り組んでもらうためにも、働き方改革が言われる中、職員の福利厚生の一層の充実が図られるよう要望して賛成討論といたします。

○議長（茅沼隆文）

大変失礼いたしました。ただいまの議題は、日程第1 認定第1号 決算認定について（一般会計）の議題でした。

ほかに討論のある方、いらっしゃいますか。

（「なし」という者多数）

○議長（茅沼隆文）

それでは、お諮りいたします。討論を打ち切り採決することに、御異議ございませんか。

（「異議なし」という者多数）

○議長（茅沼隆文）

異議なしと認め、採決いたします。

認定第1号 決算認定について（一般会計）の原案に賛成の方の起立を求めます。

（起立全員）

○議長（茅沼隆文）

着席ください。起立全員で認定されました。